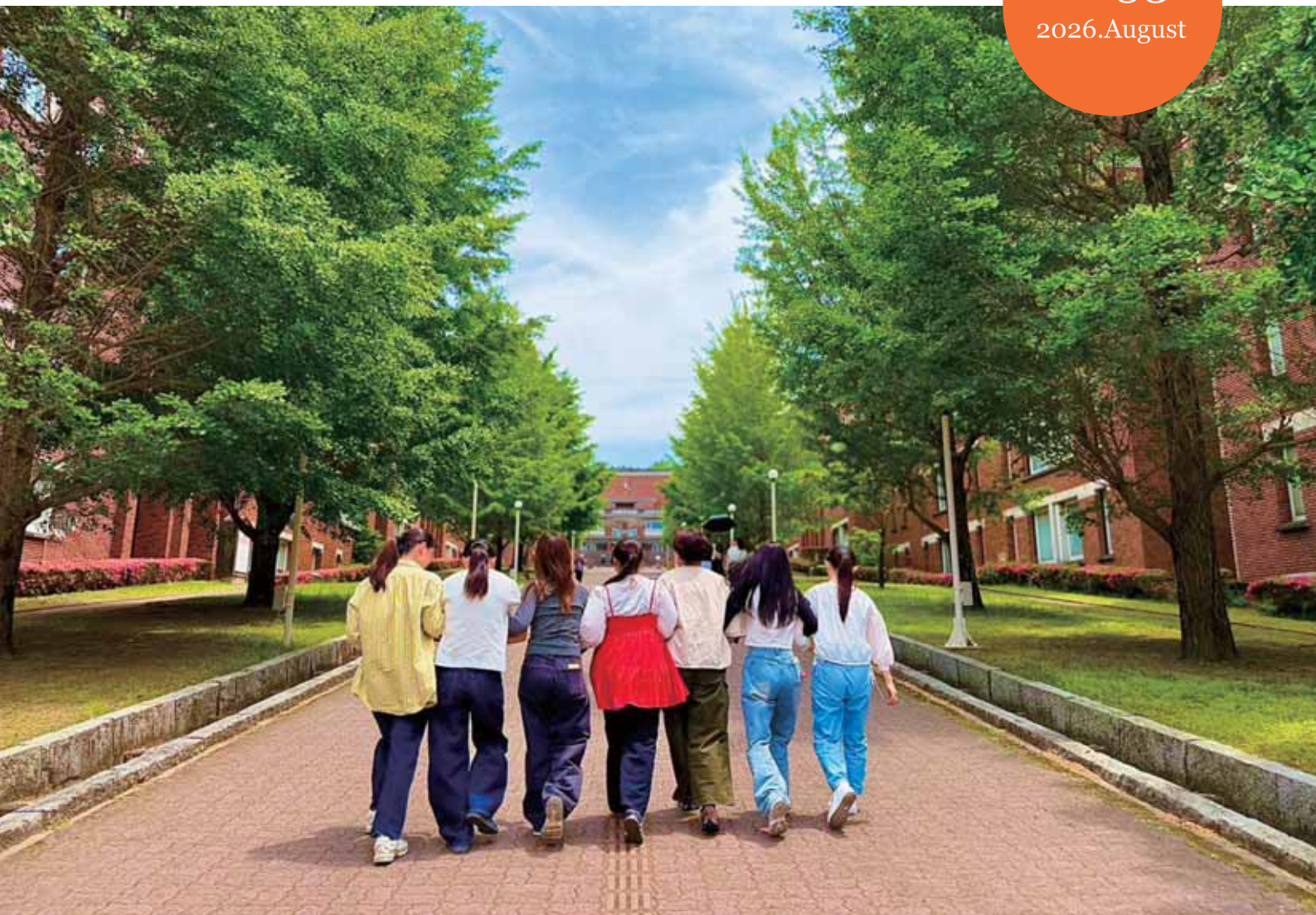


はばたき

No.153

2026.August



写真：学生広報大使 黒田奈那（看護学部2年）

CONTENTS

特集① 大学院特集	p01
特集② OB・OG インタビュー 林 久由先生	p03
増田 修一先生	
CAMPUS TOPICS	p05
Beyond the World 静岡県立大学の国際交流	p08
研究室訪問 経営情報学部 渡邊 貴之教授	p09
活躍する卒業生 兵頭 千華さん	p11
活躍する在学生 若林 聖士さん	
産学官連携	p12
図書館だより	p13
Information	p14



特集①

大学院特集

静岡県立大学大学院は、明確な問題意識を持ち、自ら積極的に学ぶ高い志を抱く人を歓迎します。
高度な専門知識を修得し、未来の地域・国際社会へ貢献する人を育成します。

入試情報



募集要項



薬食生命科学総合学府

疾病の予防・治療による健康維持には、適切な医薬品や食品の開発・選択、それらの的確な使用や摂取、及び良好な環境の提供が欠かせません。薬食生命科学総合学府では、健康維持の要因あるいは疾病の発症・進展のメカニズムを生命科学や物質科学の観点から解明し、その成果を活用し健康社会の構築に貢献する人材を育成します。

薬食生命科学総合学府は、「薬」の領域の薬学専攻(4年制博士課程)と薬科学専攻、

「食・環境」の領域の食品栄養科学専攻と環境科学専攻に、薬食生命科学専攻(博士後期課程)を加えた5専攻からなります。県内製薬企業の生産高が全国2位を占めるとともに、国内有数の食品企業数という立地条件を背景に、県東部に位置するファルマバレー、県中部のフーズサイエンスヒルズの一角として研究を進めています。県内外の研究機関、企業ならびに海外教育研究推進機関との連携も積極的に行っています。



三浦 進司 薬食生命科学総合学府長兼食品栄養環境科学研究院長

健康寿命日本一を誇る静岡県の強みを基盤に、食と健康、環境、持続可能な食料供給に関わる研究、例えば、生活習慣病の予防、食事・運動と生体機能、食品のおいしさや機能性、安全性評価、食品加工、食品廃棄物の有効活用、環境保全、茶の総合研究などを通して、幅広い分野で社会課題の解決に取り組んでいます。



眞鍋 敬 薬学研究院長

私たちは薬学の研究・教育を通して、創薬科学、生命科学、医療薬学などの分野を切り拓きグローバルに活躍できる研究職や技術者、物質科学や生命科学の統合的な知識と高い専門性を身につけた指導的立場に立つ薬剤師等の専門職や行政職、あるいはこれら分野の教育職に携わる人材を輩出しています。



国際関係学研究科

国際関係学研究科は、地球規模の諸関係の緊密化が進む今日の世界において、国際的な俯瞰力と国際関係に関連する専門力により、国際社会や地域社会における諸課題を探究できる能力を育成し、それを活用して、教育・研究機関、官庁、民間企業、NGO・NPO等の国際社会や地域社会の多様な現場で活躍できる人材を育成することを理念とします。

また、純粋に国際関係に関連する高度な専門知を学びたい方の意欲に応えます。国境を

越えた研究の視座から国際的な俯瞰力と国際関係の専門性を養う国際関係学専攻、文化や言語の比較研究を通して複眼的な知性から多様性を捉える比較文化専攻を設置し、6つの研究分野を設けて広い専門分野をカバーするきめ細かい指導を行っています。



飯野 勝己 国際関係学研究科長

本研究科は1学年の定員10名というコンパクトな規模ですが、むしろそれを生かし、きめ細かい個人指導を軸とした教育と、親密な院生コミュニティの形成を実現しています。国内・国外からの多様な人びとを受け入れ、多様な分野に送り出すべく、院生・教員一体となった研究活動を日々展開しています。





» 経営情報イノベーション研究科

現代の社会状況は変化を続け、日本社会の将来についてはローカル／グローバルなレベルにおいて従来のスキームでは十分に対応できない様々な課題が顕在化している中、新たな発想で道を切り開く方策への期待が高まっています。こうした時代に即した社会的要請に応えるために、経営、公共政策、情報、観光の4分野を柱とした、社会における様々な課題解決につながるイノベーションを推し進めるための、高度かつ実践的な研究教育を行い、

将来のイノベーションの担い手、高度な専門的人材を養成します。

経営情報イノベーション研究科のすべての講義は午後2時40分以降に始まり、半数以上の講義は夜間（午後6時30分以降）に開講されます。また、土曜日の午前・午後が開講される授業、オンラインで開講される授業もあります。これにより、社会人が勤務を続けながら学位を取得することができます。



竹下 誠二郎 経営情報イノベーション研究科長

当研究科は不確定要素が増大している環境下において、多様性を容認し、許容度を高め、「思考のダイバーシティ」を実践する人材育成を目指しています。そのため、成熟した概念から脱却し、イノベーションに必要なダイナミックな概念を備えていただくため、多様なカリキュラムを提供しています。



» 看護学研究科

看護学研究科では、いかなる状況下においても、自己の人間性を基盤に習得した専門的知識を活用し、最適な看護サービスが提供でき、看護関係職の良きリーダーとなる人材の養成を目指しています。生命関連領域の諸科学と連携し、見識のある高度な専門職能を有する人材かつ看護科学の教育・研究及び実践活動を担う人材を養成し、人々の健康増進を図り、豊かな国際社会の構築に寄与します。

看護学研究科には博士前期課程と博士後期

課程の2課程を設置しています。博士前期課程では、看護学分野における研究能力及び高度な専門性を有し、実践看護分野におけるリーダーとして看護・保健・医療・福祉の場における教育や研究課題に取り組める人材を、博士後期課程では、看護専門分野において自立して研究を実施する能力を有し、看護学の新たな知識体系の構築・開発に取り組み、専門的知識と指導力に基づいた質の高い教育・研究を実践できる人材を養成します。



篁 宗一 看護学研究科長

看護職は、人々の健康と生活を最前線で支える重要な専門職です。本研究科は2001年の設置以来、臨床・行政・教育研究等の各分野で活躍する修了生や多くの助産師を輩出してきました。これからも看護学の専門性向上と地域社会への貢献を目指し、皆さんと共に学び成長していきます。



在学生の声

在学生にどのような研究をしているか聞きました

分子の形を精密に制御しながらフッ素を導入できる触媒を開発し、新しい医薬品の創製につながる技術を研究しています。

食品や医薬品分野で使われる酵素の安定性の研究をしています。それらの原料を安く安全に作れるようにすることを目指しています。

静岡県焼津市で暮らすフィリピン日系人の方を対象として、彼ら／彼女らによる住宅取得に至る過程と定住化について検討しています。

風向のような周期性を持った多変量データに対して適切な分析を行うために、汎用性の高い新たな確率分布の研究を行っています。

女性にとって出産がより良い体験となるような支援を目指し、初産婦の出産にかかわる体験をテーマに研究に取り組んでいます。



薬食生命科学総合学府
薬学専攻
博士課程2年
栗原 梨緒さん



薬食生命科学総合学府
食品栄養学専攻
博士前期課程2年
藤谷 幸輝さん



国際関係学研究科
国際関係学専攻
修士課程2年
高橋 萌々さん



経営情報イノベーション研究科
経営情報イノベーション専攻
博士前期課程2年
石川 幸知さん



看護学研究科
看護学専攻
博士前期課程2年
鈴木 唯那さん

食品栄養科学部教授

林 久由 先生 増田 修一 先生

本学を卒業し、様々な分野で活躍している OB・OG に学生広報大使がインタビューを行います。今回は、本学 1 期生で食品栄養科学部教授の林久由先生、増田修一先生に学生広報大使の松岡さん、黒田さんがお話を伺いました。



—静岡県立大学に入学しようと思った理由を教えてください。

林：浪人中に通っていた予備校で静岡県立大学の大学案内を目にする機会があり、興味のあったバイオテクノロジーを学べることや、3月に入試があったことから入学を決めました。

増田：地元が藤枝市で、県内での進学を考えていました。静岡県立大学が設立されると聞き、当時の流行りだったバイオテクノロジーを学べる食品栄養科学部の推薦入試を受けました。一般入試は実施が3月だったこともあり、とても高い競争率でした。

林：当時は浪人を経験して入学した学生も多かったですね。

—大学生生活(研究室やサークルなど)で印象に残っていること(思い出)を教えてください。

林：1期生だったので、みんなで部活を作ろうということになり、国際関係学部の同級生から誘われて空手部に入部しました。4年生から所属した研究室にも先輩はいませんでした。他大学から着任した先生や海外出身の先生がおり、楽しい研究生生活を送っていました。

増田：もともとテニスをやっていたので、硬式テニス部に入り、卓球部やテニス

サークルにも入っていました。また、バスケット部にも登録だけして、2年生になってからはゴルフ部を立ち上げ、静岡の大谷にあるゴルフ場で活動していました。食品栄養科学部では冬休みに新潟へスキーをしに行ったり、1泊する学外研修旅行に行ったりしていました。林先生が車を持っていたので、県内の夜景を見に行ったりもしていました。

林：みんなで集まって一緒にレポートに取り組んだりするところは、今の学生と変わらないですね。

増田：学生時代に研究室でBBQや旅行に行くこともあり、今の自分の研究室でも旅行などの行事を企画しています。

—当時の講義や試験について

増田：過去問はもちろん、先生たちも試行錯誤しながらだったので、夜遅くまで実験をすることもありました。

林：当時は、時間をかけて実験に取り組む学生も多かったですね。

増田：今では考えられないかもしれませんが、土曜日にも講義がありました。

—大学内外の様子について

増田：入学式は体育館で、卒業式は大講堂で行われました。また、健康支援センターがある場所(草薙キャンパス一般教育棟1階)が当時は売店でした。食堂も1つしかなく、すぐ満席になってしまいました。1期生の中には、卒業後に大リーグの審判になった人や、Jリーグのコーチになった人もいと聞いています。

林：プロダンサーになって映画に出演した卒業生もいます。

増田：今はもうなくなってしまいましたが、当時は大学の近くにおにぎり屋がありました。

左：林 久由(はやし ひさよし)

静岡県立大学食品栄養科学部卒業。同大学院にて博士号を取得後、カナダで約3年間ポスドク研究員として研究に従事した。その後、静岡県立大学食品栄養科学部に着任。現在は、生理学を基盤として、消化管上皮バリア機構や栄養吸収機構に関する研究と教育を行っている。

右：増田 修一(ますだ しゅういち)

静岡県立大学食品栄養科学部卒業。同大学院修了後、環境アセスメント会社や国立公衆衛生院で研究員として環境・水道分野の研究に従事した。2001年より静岡県立大学食品栄養科学部に着任。専門は食品衛生学で、現在は、特に食品中化学物質のリスク評価など、食品の安全性に関する分野について研究している。

—県大で教員として働くことになったきっかけを教えてください。

林：大学院の修士課程に進み、指導教員の先生から「研究が好きなら、教員にならないか」と声をかけてもらったのがきっかけです。研究職を続けるには博士号が必要だったため、その後、博士号を取得しました。約3年間カナダで研究し、県立大に戻りました。

増田：修士課程を修了後、6年間は会社員として大阪、東京、静岡で勤務しました。大学院在籍時の主任教員だった木苗先生(第5代学長)にお声がけいただいたことがきっかけです。もともと教育に興味があり、学校の先生になりたいと考えていたこともあり、大学に戻ってきました。食品栄養科学部の1期生は高校教員や大学教員になった人が多いです。



写真左より、学生広報大使の黒田さん・松岡さん

—先輩として、食品栄養科学部の教員としてそれぞれの立場から県大生へメッセージをお願いします。

林：何かになりたいという目標や希望、夢を持ってほしいです。私が学生の頃は、海外出身の先生との出会いもあり、海外に行くのもいいなと漠然と思っていました。実際に行ってみるととても楽しい経験でしたので、型にはまらず、大きな夢を持ってほしいと思います。

増田：大学生活で培った友人関係は重要です。社会人になる前の大学生活において勉強だけでなく、様々なことを学んではばたいていてほしいです。また、私たちが学生の頃はスマートフォンもインターネットもなく、友達と話をしたり、実験をしたりしていましたが、今の学生は行事をやったり、どこかへ一緒に行ったりすることがあまりなくなっていると感じます。スマートフォンばかりではなく、コミュニケーションを取る時間やいろいろなところへ遊びに行く時間を大事にしてほしいと思います。社会人になっても、大学時代に知り合った人たちとの関係を続けていてほしいです。



第一回入学式の写真を見る4人



学生時代の
林先生



学生時代の増田先生(中央)



■ 本学初のネーミングライツ施設「Suzuyo Mirai Hall」記念式典を開催

4月13日、草薙キャンパスにて、本学初のネーミングライツ施設である「Suzuyo Mirai Hall」の記念式典を開催しました。

本学では、教育研究環境の向上等を目的として、新たに大学施設へのネーミングライツ事業を導入し、鈴与株式会社との間で、2026年4月1日から2031年3月31日までの5年間の契約を締結しました。

記念式典には、鈴与株式会社 鈴木一寿 常務取締役のほか、今井康之学長、酒井敏副学長らが出席し、愛称のお披露目とともに、今後の協働に向けた想いを共有しました。



テープカットの様子

■ 学生団体「静岡県立大学テレビ製作委員会」が本学のプロモーションビデオを制作



完成PVを囲む委員会メンバー

学生団体「静岡県立大学テレビ製作委員会」が、本学のプロモーションビデオ(PV)「はばたく準備を、この場所で。」を制作しました。

同委員会は、このPVを「静岡県立大学テレビ(通称:県大TV)」で配信しています。

PVは2分48秒の動画で、冒頭は静岡県の魅力がわかるような映像を使い、それから大学にスポットを当て、本学の魅力を紹介する構成となっています。PVの制作にあたっては、文教大学映像制作研究部に協力を仰ぎ、令和7年9月から撮影を開始しました。学生広報大使をはじめとした各学部の学生たちが出演し、講義や実習風景、大学祭など学生生活を楽しむ様子が生き生きと描かれた作品となっています。

代表の三浦睦さん(食品栄養科学部3年)は「本学で学び、学生生活を送ることで未来へはばたく準備ができる場所である、という魅力を伝えるために制作した。学生が楽しく、また真剣にはばたく準備をしている姿に注目して観てほしい」と語りました。

PVは本学公式YouTubeチャンネルでご覧になれます。

視聴は
こちらから



■ 令和8年度入学式を開催しました

4月9日、静岡市駿河区のグランシップで、学部・短期大学部・大学院の合同入学式を開催しました。学部生670人、短期大学部生110人、大学院生129人、計909人が希望を胸に新たなスタートを切りました。

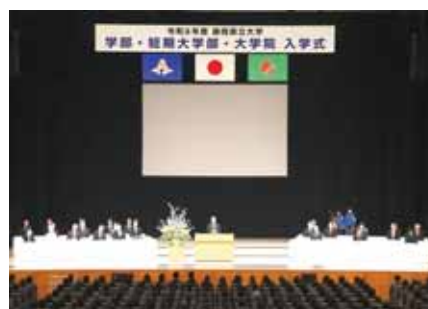
今井康之学長は、式辞で「大学では正解のない課題に挑み、自分で考え失敗から

学ぶ姿勢が重要である。AIに頼りすぎず主体的に学びつつ、豊かな環境と多様な交流を活かして充実した学生生活を送ってほしい」とエールを贈りました。

新入生を代表し、食品栄養科学部の齊藤寧々果さんが「勉学はもちろんのこと新たな出会いを大切にし、大学生活を実りある

ものにします。そして様々なことに挑戦し、視野を広げることで社会に貢献できるよう努めます」と宣誓しました。

式典後は、学生によるクラブ・サークル紹介が行われ、吹奏楽部、チアダンス部、アカペラサークル、ジャズダンス部が華やかなパフォーマンスで新入生を歓迎しました。



式典の様子



学長式辞



クラブ・サークル紹介

令和8年度開学記念行事を開催しました

20日の開学記念日を前に、4月17日草薙キャンパスで開学記念行事を開催しました。午前に行った新入生歓迎委員会主催の運動会では、約60名の学生が6チームに分かれ、イントロクイズとレースを合体させた「イントロレース」や、キッカー、キーパーそれぞれが足つぽマットの上で競技を行う「足つぽPK」など5種目を楽しみました。

午後は「留学生と語ろう」というテーマで、シンポジウムを実施しました。

ミャンマー、ベトナム、中国出身の留学生3名

と留学経験のある日本人学生2名が登壇し、IFC（国際学友会）の学生の進行のもと、自身の留学の経験から感じた文化や生活習慣の違いについて意見交換を行いました。登壇者からは「自分の可能性を探すためにも、チャンスがあったら留学をしてほしい」とのコメントもあり、留学を考えている学生にとって刺激となる場となりました。

夕方からはSuzuyo Mirai Hallで学生・教職員懇親会「はばたきのつどい」を開催し、教職員の他、サポーターズクラブ企業の

担当者も出席し、会場は大いに盛り上がりしました。参加者は学生によるアトラクションや飲食を楽しみながら、交流を深めました。



運動会を楽しむ学生たち



シンポジウムの様子



はばたきのつどいの様子

学生クラブESSが高校の英語授業で英語を使った活動を支援

6月6日、学生クラブ「ESS（English Speaking Society）」が静岡サレジオ高等学校グローバルスタディーズクラスの英語授業に参加しました。授業はすべて英語で進められ、ESSのメンバーが中心となってカードゲームや価値観共有ゲームを行い、生徒同士が英語で交流する機会づくりをサポートしました。

参加した高校生からは、「クラスの人たちと

交流を深めることができて楽しかった」「価値観共有ゲームで共感できる意見があり、クラスメイトの考えを知ることができた」などの感想が寄せられました。

ESS代表の鳥居生吹さんは、「ゲームを楽しみながら英語学習を支援できてよかった。今後も地域の方を対象にした英語イベントを企画していきたい」と語りました。



説明をするESSのメンバー

第40回 剣祭 10月24日(土)・10月25日(日)

今年のテーマは「^{けんぱ}剣覇」です。各種ステージ企画のほか、クラブ・サークル等による模擬店、各種イベント企画を盛り込んだ開催を予定しています。また、本学の教育・研究を体験できる模擬授業やゼミ、研究室の一般開放も予定しています。開催の詳細については剣祭実行委員会公式Instagramなどで発信予定ですのでご確認ください。

e-mail

tsurugisai.4111@u-shizuoka-ken.ac.jp

剣祭実行委員会公式Instagram

https://www.instagram.com/tsurugisai_official



第30回 橘花祭 11月7日(土)・8日(日)

短期大学部の大学祭です。

例年、学科・専攻の専門性をいかした展示や、クラブ・サークル等による模擬店、橘花祭実行委員会主催のイベントなどを行っています。

現在、橘花祭実行委員会において、展示・模擬店の内容について検討を進めています。

詳細については、今後短期大学部ホームページに掲載しますので、ご確認ください。

TEL 054-202-2603(学生室)

URL <https://oshika.u-shizuoka-ken.ac.jp/>

クラウドファンディング報告

本学が実施したクラウドファンディング「学生の暑さ対策～体育館での学生活動に涼しい風を!」プロジェクトにつきまして、多くの皆様から温かいご支援を賜り、目標を達成いたしました。6月には、草薙キャンパスに2台、小鹿キャンパスに3台の気化式冷風機が納品されました。皆様からお寄せいただいたご支援は、これから暑さが本格化する時期の学生の活動を力強く支える設備として活用されます。多くの皆様から温かいご支援と励ましを頂きましたこと、心より御礼申し上げます。今後とも本学へのご支援、応援をよろしくお願い申し上げます。

プロジェクト名 「学生の暑さ対策～体育館での学生活動に涼しい風を!」

資金の用途 気化式冷風機等の設置（草薙・小鹿両キャンパスの体育館用として計5台）

寄附募集期間 令和7年10月24日～令和8年1月22日

目標金額 1,650,000円

寄附総額 1,681,000円



草薙キャンパス



小鹿キャンパス

【ご支援いただいた皆様（敬称略・順不同）】 その他、120名の方からご支援をいただきました。

山田 裕嗣、浅井 航平、石川 篤、白土 達夫、山崎 敦史、渡邊 順子、石井 伶朗、鈴木 直英、松浦 崇、山下 正祐、小沢 和久、岩崎 邦彦、吉田 直樹、青島 裕真、トミタ 恒雄、鈴木 まゆみ、市野 雄基、黒柳 正巳、竹下 典子、三浦 進司、渡邊 渉章、富田 浩義、長島 環、竹熊カツマタ 麻子、武藤 伸明、小鹿薬大ラジオ体操会、北野 嘉章、米野 みちよ、伊吹 裕子、佐藤 洵子、久保田 育子、静岡女子短期大学・静岡女子大学同窓会 おおとり会、野秋 貴靖、株式会社メンテックカンザイ 静岡支店、上原 かよ、増田 リサ、伊藤 さくら、土肥 潤也、一般社団法人 静薬学友会、神戸 重敏、田島 ヒサミチ、赤池 勇治、鷲嶽 卓也、石上 恵理、中畑 陽一、森田 太郎、長坂 洋祐、磯貝 幸祐、特定非営利活動法人 静岡エスアカデミア・スポーツクラブ、山崎 俊昌、窪田 怜、高橋 真一郎、宮原 亜砂美、村上 孝文、北沢 かな、林 みよ子、井口 真彦、山本 六三、野澤 義明、出口 幸映、箭内 克俊、出羽 歩美、今井 康之、高畑 幸、川瀬 善之、志田 雅宏、上野 稔勝、高橋 竜



県大サポーターズクラブ

本学では、教育・研究環境の充実に向け、2025年4月に「県大サポーターズクラブ」を創設しました。「静岡県立大学おおぞら基金」への寄附（1口10万円）によりご加入いただく制度で、会員企業・団体の皆様には、学生への企業情報の発信や学内イベントへの参加などの特典を設け、学生が地域企業への理解を深める機会づくりにもつなげています。令和8年7月末現在、ご加入いただいている企業の皆さまをご紹介します。皆様からの温かいご支援に、心より感謝申し上げます。

【加入企業等一覧（順不同）】

nattoku住宅株式会社、日本ケミカル工業株式会社、静和エンバイロメント株式会社、株式会社東名自動車学校、株式会社うさぎ薬局、株式会社杏林堂薬局、鈴与建設株式会社、静岡鉄道株式会社、TOKAIグループ、セキスイハイム東海株式会社、鈴与株式会社、鈴与商事株式会社、静岡ガス株式会社、鈴与システムテクノロジー株式会社、しずてつジャストライン株式会社、ホロン株式会社、はごろもフーズ株式会社、株式会社静岡銀行、セキスイファミレス東海株式会社、株式会社天野回漕店、東洋カプセル株式会社、株式会社デー・ピー・シー、有限会社山本薬局、株式会社Newデイス、株式会社シゲタ

今号の「はばたき」では、本学のグローバル化3つの視点「教育」「研究」「キャンパス環境」のうち、「教育」についてご紹介します。

「教育」のグローバル化とは？

本学では、交流大学等との緊密な関係を構築するとともに、国際水準（グローバル・ランキング相当）の教育を提供しています。常に留学生の受け入れ環境の向上や学生の海外派遣の促進を図っており、その取り組みの一つとして「スタディツアー」があります。日本人学生は留学生とツアーを通じて、多様な学びの機会を得ることができます。

国際交流センター
副センター長
小窪 千早 准教授



スタディツアーに参加してみよう！



2026年2月 駿河湾の地域資源を生かした産業の魅力に触れたツアー参加者

- ✓ 友達の輪が広がる
- ✓ 貴重な経験ができる
- ✓ 自国や地域（静岡）について再確認することができる
- ✓ 留学生を通じて海外の文化や言葉を知ることができる
- ✓ 異文化・学生交流により、「共生」についての理解を深めることができる



公式HP
静岡スタディツアー



富学寮+
国際交流
Instagram

本学のグローバル化3つの視点



教育



研究



キャンパス環境

●グローバル【global】：世界的な規模であるさま。また、全体を覆うさま。包括的。「一な視点」 出典：デジタル大辞泉（小学館）

世界とつながる教育体制

海外22ヶ国の学校と交流協定を結んでいます。

交換留学や語学研修といった学生交流から教員の研究交流まで様々な交流を図っています。

協定校各国（2026年7月現在） ※協定校について詳しくは下記二次元コードからホームページをご覧ください。

アメリカ合衆国、イギリス、イタリア、インドネシア、オーストラリア、カナダ、スペイン、タイ、大韓民国、中華人民共和国、ドイツ、トルコ、ニュージーランド、バングラデシュ、フィリピン、フランス、ベトナム、ベルギー、マレーシア、モルドバ、ロシア、モンゴル



協定校紹介

Partner University Spotlight



スペイン

バリャドリッド大学

13世紀に創設されたバリャドリッド大学は、約800年の歴史を有するスペイン有数の伝統ある公立大学です。スペイン中北部のカスティーリャ・イ・レオン州に位置し、人文・社会・理工・健康科学など幅広い分野で教育研究を展開しています。国際交流にも積極的で、本学との学術的・文化的交流が期待されます。

【国際交流・留学】
詳しくはコチラ！



交換留学を経験した先輩の声

バリャドリッド大学にはヨーロッパ各国からの留学生が多く在籍していたため、スペインだけでなく、多様な国の価値観や考え方に触れる毎日を過ごしていました。スペインでは「シエスタ」という昼休みの文化が根付いていたため、日本とは全く異なる生活習慣を体験しました。また、週末には友人やルームメイトとカフェやバルへ行き、食事や会話を楽しむ中で現地の人々との交流を深めました。バリャドリッドでの留學生活を通して、日本の「察する文化」から離れ、自分の意見や気持ちを率直に伝える、対話を通して問題を解決する姿勢を身に着けることができました。この留學経験は、自分の将来を考える上で、大きなきっかけになったと感じています。

北條 実織

国際関係学部 国際関係学科3年
〔留學期間〕2026年2月～7月



バリャドリッド大学からの交換留学生紹介

日本に来たばかりの頃は、日本社会になじめるか、一人になってしまわないかと不安でした。しかし、実際には富学寮で素晴らしい仲間と出会い、多様な文化に囲まれながら楽しく生活することができました。教職員の皆さんもいつも笑顔で親身に支えてくださり、新しい環境にも自然に溶け込むことができました。また、大学の魅力の一つは、多くのクラブ活動があることです。様々なクラブに参加することで新しい友人と出会うことができました。日本人の友人たちは日本語を優しく教えてくれ、彼らのおかげで学ぶことを前向きに楽しむことができました。こうした友情は、これから先も長く続いていくと確信しています。

David Blanco Hernandez

商学部 国際関係学科 3年
〔留學期間〕2026年4月～9月



To be continued >>> 次回の協定校紹介もお楽しみに！



経営情報学部 渡邊 貴之 教授

—先生が取り組まれている研究について教えてください。また、現在の研究を行おうと思われたきっかけは何ですか。

私の研究室では、さまざまな組織（公共団体、文化観光施設、民間企業等）を対象としたDX化（AI導入を含む）の支援や、そのためのWebアプリ・スマートフォンアプリの開発、そしてそれらによって集まるデータの分析について研究を行っています。扱うデータとしては、位置情報、人流・行動データ、アプリやサイトのログ、アンケート回答データ、SNS投稿データ、カメラ画像や各種センサのログ、道路網データなどです。集めたデータを機械学習の手法を用いてモデルに学習させ、未知データの分類や、内部・外部環境が変化した際の将来予測等のシミュレーションに活用する研究も行っています。

私はモノづくりが好きで、大学では工学部に進学しました。当時、私の所属した研究室では、大手電機メーカーと共同で製品設計用のシミュレーターを開発しており、研究成果が目に見える形で役立つことに喜びを感じ、博士課程まで進学しました。その考えは今も変わらず、共同研究などを通じて実社会に目に見える形で役立つ研究を目指しています。

—先生の研究が、これからの社会に果たす役割についてお聞かせください。

ここ数年ご縁があり、山形県鶴岡市のDMO（観光地域づくり法人）や、同市羽黒山にある出羽三山神社と共同研究を行っています。出羽三山（羽黒山、月山、湯殿山）を巡る参拝は江戸時代から「生まれかわりの旅」とされ、特に出羽三山神社の2,446段の石段を約1時間半かけて登る参拝体験は「石段詣」とされ人気となっています。

私の研究室では、石段詣の出発時と到着時にスマートフォンでQRコードを読み取ることで、参拝時間や現在位置などが確認できるシステムを開発しました。このシステムは、2021年から運用を開始して今も改良を続けています。到着時のアンケートから、体験者の声をはじめとするデータの収集に取り組んでいます。この研究は、神社におけるDXという、一見するとデジタルとは無縁に思える組み合わせです。今後は、このように今まで想像できなかったような分野にまでデジタル技術が浸透すると考えられ、導入のメリットに留まらず、デメリットや課題をも検証するという点で、意義のある研究だと考えています。

—研究をしているなかで、学生の成長を感じるのとはどのような時ですか。

学生には、外部組織との共同研究へ積極的に参加してもらっています。その過程で、外部の方とのミーティングやプレゼンを通じて、学生の研究に取り組む姿勢が磨かれ、質の高い資料をまとめるスキルの伸びを実感しています。私の研究室では、情報系としては珍しく、必要があれば街頭に立ち、対面アンケートやモニター調査を実施することもあります。こうした経験をした学生は、研究室に閉じこもるだけでは得られないコミュニケーションスキルの向上を実感しています。

渡邊 貴之 先生

静岡県湖西市出身

□1995年

静岡大学工学部
光電機械工学科
卒業

□1998年

日本学術振興会特別研究員DC2

□2000年

同大学院工学研究科博士課程修了、博士（工学）。同年静岡県立大学経営情報学部助手

□2004年

米国ジョージア工科大学客員研究員

□2018年

静岡県立大学教授。IEEE、電子情報通信学会、情報処理学会、エレクトロニクス実装学会、信号処理学会、観光情報学会各会員





経営情報学部
経営情報学科 4 年
石橋 康平さん

—御自身から見て感じる、渡邊先生の研究室の魅力や特徴についてお聞かせください。

興味のあることを幅広く研究できる環境です。学生が多く、それぞれ興味のあることは違いますが、渡邊先生が幅広い知識でサポートしてくれます。また、歓迎会や打ち上げなどイベントも充実しており、学年を問わず交流できる点も魅力であると感じています。先生との関係性はもちろんのこと、学生同士も楽しくコミュニケーションを取りながら学ぶことができる環境があります。

—御自身が行われている研究テーマについてお聞かせください。

私は、熱海市の観光施設「起雲閣」における多言語対応音声ガイドアプリの開発に取り組んできました。追加する機能を起案するところからコーディングまでグループで行い、UI/UX※について多くの気づきを得ることができました。今後はこの経験で得た知見を活かし、卒業研究として「AIとゲーミフィケーションの要素を取り入れたタイピング練習ソフトの開発」に取り組みたいと考えています。
※ユーザの操作性/体験満足度

—将来の目標・希望進路についてお聞かせください。

私は将来、システムエンジニアとして自身の市場価値を高めていきたいと考えています。研究室内では、専門的知識を深めるだけでなく、チームで開発を行う上で細部まで認識を擦り合わせるコミュニケーションの重要性を学びました。研究室での学びを活かし、来春からはエンタメに関わるシステム開発を通じて、人々を笑顔したいと考えています。



経営情報イノベーション研究科
博士前期課程 1 年
蔡 慧寧さん

渡邊研究室の魅力は、情報技術やデータ分析を活用しながら、観光や地域活性化など実社会に関わる課題に取り組める点です。研究テーマの自由度も高く、自分の興味に合わせて研究を進めることができます。また、渡邊先生はとても話しやすく、研究のことはもちろん、留学生としての生活についても気軽に相談できます。そのため、安心して研究に打ち込める環境だと感じています。

私は、観光客の行動をより正確に予測するための研究に取り組んでいます。観光客が次にどこを訪れるのかをモデル化し、従来の手法と新しい技術を組み合わせることで予測精度の向上を目指しています。人の行動をデータから読み解いていく過程に研究の面白さを感じており、研究成果が現実の問題に活用できる点にも魅力を感じています。

研究室での研究活動を通して、データを分析する力や課題について深く考える力を身に付けてきました。将来は、こうした経験を生かしながらさまざまな課題に柔軟に向き合い、自分自身も成長していきたいと考えています。また、日本での留学経験を通して得た視点を今後の活動にも生かしていきたいと思っています。

渡邊先生研究室 22 名



活躍する卒業生

The graduate who plays an active part



お名前 兵頭 千華さん

卒業学部 短期大学部 社会福祉学科 介護福祉専攻
(2005年3月 修了)

勤務先 社会福祉法人ほなみ会
特別養護老人ホーム第二南風

Q1.現在の仕事について、どのような内容かお聞かせください。また、仕事でやりがいを感じる時はどのような時か、お聞かせください。

現在は生活相談員兼副施設長として、入居の申し込みからお亡くなりになるまでの支援に幅広く関わっています。入居者一人ひとりの思いやご家族の意向に寄り添いながら、その人らしい生活を支えることを大切にしていま

す。その中で、退居時に「ここで生活できてよかった」と言っていたことが何よりの喜びであり、大きなやりがいとなっています。

Q2.大学生生活(研究やサークル)で印象に残っていること、今の仕事に影響を与えたことを教えてください。

正直に言うと、勉強内容よりも友人と過ごした時間の方が印象に残っています。ゼミの先生の部屋にもよく足を運び、気軽に相談できる関係が支えになっていました。また、3回の実習を通して施設ごとの違いや特色を知り、環境の大切さを実感しました。その経験が就職活動にも影響し、現在の施設との出会いや「その人らしさ」を大切にする姿勢につながっています。

Q3.静岡県立大学に入学してよかったことを教えてください。

専門的な知識や技術だけでなく、人と関わる上で大切な姿勢を学べたことです。実習や仲間との学びを通して視野が広がり、自分の進む道を具体的に考えることができました。また、先生方の温かい支えも大きく、安心して学べる環境の中で今の仕事につながる土台を築くことができたと感じています。

Q4.今後の目標や課題について教えてください。

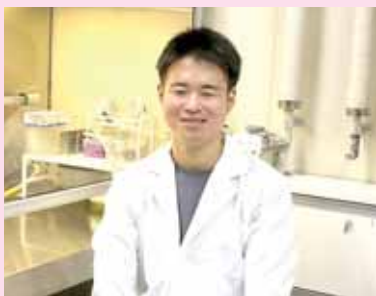
組織づくりと職員育成は常に大きな課題です。自分なりの考えや方法はありますが、一方的に押し付けるのではなく、相手の立場や思いを大切にしながら伝える難しさを感じています。今後は対話を重ね、互いに理解を深めながら成長できる関係づくりを目指し、入居者も職員も笑顔で過ごせる環境を整えていきたいと考えています。

Q5.在学生にひとこと、メッセージをお願いします。

学生生活はあっという間ですが、今しかできない経験がたくさんあります。勉強はもちろん大切ですが、友人との時間や実習での出会いも将来につながる大切な学びです。悩んだときには先生方も必ず味方になってくれます。さまざまな経験を通して自分の価値観を広げ、自分に合った道を見つけてください。焦らず一歩ずつ進み、充実した学生生活を送ってください。

活躍する在学生

The current student who plays an active part



お名前 若林 聖士

在籍学部 薬食生命科学総合学府 薬学専攻
博士課程2年
(2025年(静岡県立大学薬学部薬学科には2019年入学))

Q1.現在、ご活躍されている分野についてどのような内容かお聞かせください。また、その分野で一番魅力を感じる部分はどこですか。

薬による不整脈発症リスクが女性で高いことに着目し、遺伝的背景の近い二卵性双生児男女由来ヒトiPS細胞を活用して、性別を考慮した心毒性評価系の構築に関する研究に力を入れています。細胞に不整脈を起こす薬や性ホルモン等を投与して、性差のメカニズムを明らかにしようと取り組んでいます。研究においては、自ら仮説を立て、それを実験で検証で

きることが魅力に感じます。そのためにも日々勉強を重ねることが大切です。

Q2.静岡県立大学に入学しようと思ったきっかけを教えてください。

私は元々医学部を第一志望にしていました。学部入学当初は6年間続けられるか不安でした。しかし、授業とサークル活動での楽しさを通じてその不安はすぐに解消されました。そして大きな転機は研究室配属です。自らの実験によって誰も知らないことが明らかになるという楽しさに触れました。これが博士課程に進んだきっかけです。私の経験から言うと、この大学にはそれぞれの学生が熱中できることが山のようにあると思います。

Q3.私生活や学業と活動はどのように両立されていますか。

学部生で研究室に配属される前は、長期休暇中に家業を手伝うことによって生活費をいくらか得ていました。それ以降は、給付型の奨学金と親からの支援で生活できており、研究に全ての力を注げる環境にいます。私の場合、研究の息抜きが私生活との両立になるかもしれません。月に1回くらい、研究室のメンバーと飲みに行くのを楽しみにしています。また、学会では様々な地方に行くので、合間に観光することもあります。

Q4.活動をやっている苦労したこと、そこから学んだことなどあれば教えてください。

苦労したことは実験手技の習得とプレゼンテーションです。学部4年生の頃は、先輩方の技術を再現できず、本来の実験に数か月進めないこともありました。何度も失敗し、その原因を一つずつ改善したことで、「どうすれば上手いくか」を自分の言葉で説明できるようになりました。プレゼン資料も教員からの修正を幾度も受けましたが、その経験は博士課程で後輩を指導する際に大いに役立っています。

Q5.今後の目標や課題、将来の夢について教えてください。

博士課程の間に、臨床で報告されている不整脈の性差を一部でも説明できるようなデータを出すことが目標です。そのためには、私自身が質の高い研究成果を出し続けるということが課題です。さらに研究を進めて、世界にその成果を発信したいです。夢は、大げさかもしれませんが、医療・薬学の常識を変える研究者になることです。私の研究成果により、多くの人が恩恵を受けられる世界を作ることが出来たら良いと思います。

実験の様子はこちら>>



KENDAI-BASEから 始まる挑戦

一学生たちが描く未来一

KENDAI
-BASE

静岡県立大学
インキュベーション施設

「いつか起業したい」
「地域の課題を解決したい」
「自分のアイデアを形にしたい」

そんな学生たちの挑戦を後押しする場所が、
静岡県立大学のインキュベーション施設「KENDAI-BASE」
内に設けられた TENTO スペースです。
今回は、TENTO を拠点に活動している学生たちの
チャレンジを紹介します。

TENTOとは？



学内インキュベーション施設「KENDAI-BASE」内に
設けられたコワーキングタイプのオフィススペースです。



沼津市戸田の間伐材を使用し、地域資源の循環にも配慮
しています。



TENTO へは、起業に挑戦する学生が入居できます
(審査有)。

TENTO 卒業生 (2025 年度 TENTO 入居)

吉田 晃 (2026 年 3 月国際関係学部卒)

「アナログの良さに魅せられ、
挑戦を重ねた 4 年間」

- 昨年度まで TENTO へ入居
- 2 年時に「しずおかビジネスプランコンテスト」
学生部門にて、手書き文字のプラットフォーム
「文字の達人」でアイデア賞受賞
- 3 年時に手作りのクラフト商品「置き物と傘」
を清水港へ寄港したクルーズ船客へ販売
- アンバサンド株式会社 (東京都) の客員起業家に
採択され、新たにプロフィール交換アプリ
「プロフル」を開発
- 4 年時に TECH BEAT Shizuoka のチャレンジ
ピッチへ登壇
卒業後の現在も自らのアイデアに磨きをかけている

Q 起業を目指すようになったきっかけは何ですか？

大学 2 年生のとき、手紙をもらう機会が重なり、手書きの温かさに魅了されました。
自分も手書きで手紙を書きたいと思ったものの字が汚かったので、参考書を購入し練習
を始めたが、参考書は一人の著者のお手本しかなく、「好みの字・好かない字」が
あることに気づきました。そこから「自分好みの字を発見・練習できるサービスがあれば」
と思い立ち、ビジネスの知識はゼロでしたが面白そうという勢いだけでビジコンへ
エントリー。ありがたいことに受賞でき、そこから起業という方向へ進んでいきました。

Q なぜ次から次へ、新しいことにチャレンジできたの？

好奇心が高い方なのかなと思います！様々なことに触れることで、一見まったく関係の
ない経験が別のアイデアや発想のヒントになることがあります。ただ、手を広げすぎて
行き詰まり、何も前に進めなくなってしまうこともあります。
良い面と難しい面、どちらも正直あります。_b

Q これまでで一番大きなチャレンジはなんですか？

清水銀座商店街にて、手作りの置物の和傘を手売り販売したことです。清水港にクルー
ズ船が寄港することもあり、海外の方に沢山見てもらおう！と思ったものの、商店街の
人通りは少なかった。その日の売り上げはゼロ。授業もあるため昼過ぎに半ば諦めなが
ら片付けをしていました。そのとき、道路を挟んだ向かいのデイサービスを終えたおば
あちゃんが近づいてきて「一つほしい、部屋が殺風景だったからこれで温まる」という
ありがたい言葉を頂きました。振り返ってみて、一歩踏み出して良かった大きなチャレ
ンジだったと思います。

Q 今後の目標は？

Profru (プロフル) という日記やプロフィール帳、思い出の記録
など、さまざまな用途のテンプレートをスマホ上で選んで使える
アプリサービスで開発/運営に注力している。その Profru をより
熱狂的に使ってもらえるサービス作りをする！！ことです (・v・)



TENTO 現役生 (2026 年度 TENTO 入居)

楠本直輝 (経営情報学部 2 年生)

中学時代から e スポーツチームにて活動

e スポーツチームを核に、メディア事業・クリ
エイティブ事業・ライバー事業・IP 事業を
展開することで、新たなエンターテインメント
ビジネスの構築を目指している



Q 起業を目指すようになったきっかけは何ですか？

正直、最初から「起業したい」という気持ちはなかったです。
e スポーツの活動を続け、もっと面白くできないかと考えて動いていたら、
今の形になっていった感じです。目的が先で、起業はその手段のイメージです。

Q 現在の起業プランを教えてください

現在、e スポーツチーム「NIX VISION」をブランドの軸に、ライバー事務所や
クリエイティブスタジオ、メディアを運営しています。静岡という地方から、
e スポーツ・エンタメを発信する会社を作ろうとしています。

Q 現在の課題は何ですか？

企業に e スポーツの価値を納得してもらい、活動をサポートしていただくのが
一番難しいです。まだまだ「ゲームでしょ？」という反応は多く、データや実績で
丁寧に提案し続けるしかないと思っています。

Q 今後の目標は？

静岡に拠点を置き、事業として成立させることが目標です。まずは目先のことを
1 つずつ形にして積み上げていき、最終的に自分の実現したかったことへ繋がって
いけばと思っています。



「e スポーツチーム NIXVISION」の
詳細はこちら



挑戦者
募集!

起業や新しいことに挑戦したい学生を募集します。



「起業したい」



「アイデアを
形にしたい」



「何かに
チャレンジして
みたい」

そんな想いを持つ方は、ぜひ地域・産学連携推進室へご相談ください。

静岡県立大学
地域・産学連携推進室

renkei@u-shizuoka.ken.ac.jp
054-262-5124

KENDAI-BASE について
詳しくはこちら



HABATAKI No.153

図書館 だより

レファレンス（調査相談）サービスのご紹介

ほとんどの学生の方にとっては、図書館といえば、「自習したり、本を借りたりするところ」くらいのイメージかもしれませんが、確かに、学習・閲覧用設備の提供や資料の貸出しは図書館の基本的なサービスではありますが、それらの学習や資料利用をサポートするため、「レファレンス（調査相談）サービス」という専門職員による人的サービスも提供しています。

「課題で指定された本が図書館のどこにあるかわからない」といった基本的な相談はもちろん、「卒業研究のために〇〇に関する先行研究を調べたいがどのように調べれば良いかわからない」や「他大学・他機関にある資料を利用したいがどうすればよいか」といった専門的な相談まで、学生のみなさんが学習・研究をする中で、資料・情報探しでお困りの際は、ぜひお気軽にカウンターの職員にご相談ください。

また、レファレンスサービス自体に興味を持たれた方がいましたら、国立国会図書館が全国の図書館と協同で構築しているレファレンスのデータベース「レファレンス協同データベース」がインターネットで公開されていますので、覗いてみてはいかがでしょうか。例えば、同データベースの詳細検索画面で、質問者区分を「学生」にチェックして検索すると、「戦時中の新聞記事のコピーが欲しい」や「平安時代の子育てに関する資料を探している」などの、全国の大学生が図書館に寄せた相談とその回答を調べることができます。

ちなみに、私たち図書館の職員が相談を受けた際にも、他の図書館で似たような相談を受けていないか、受けていたらどのように回答したのかをレファレンス協同データベースで調べ、参考にすることがあります。



私の一冊の本

紹介者 国際関係学部・国際言語文化学科 教授 栗田和典
紹介図書 『八十日間世界一周』(上・下)



著者：ジュール・ヴェルヌ（高野優訳）
出版社：光文社（光文社古典新訳文庫）
出版年：2009年5月
ISBN：（上）978-4-334-75182-1
：（下）978-4-334-75183-8

『八十日間世界一周』はジュール・ヴェルヌ(1828-1905)の1873年の作品です。日本語訳が10以上の版を数え、舞台演劇や映画やアニメやゲーム、センター試験にまで登場しました。中学入学のころに出会い、世界の広さと人間の多様さに驚嘆し、それから何度も読みかえてきた一冊です。

物語では、精密機械のような

ジェントルマン、フィリアス・フォッグが、「どこでも(partout)とおる(passe)」の名をもつ召使い、ジャン・パスパルトゥーとともに世界を一周します。旅のきっかけは、定刻に出かけ、食事をとり、カードゲーム(ホイスト)に熱中して過ごす「改革クラブ」での議論でした。パスパルトゥーがフォッグに雇われたその日の新聞は、ボンベイ(ムンバイ)からカルカッタ(コルカタ)までの鉄道の完成をつたえ、これで世界一周が80日でできるとの計算を載せていました。フォッグは現実には可能であると主張し、全財産の半分の2万ポンドを賭け金に、残り半分を旅費としてその夜にロンドンを出発します。1870年代の2万ポンドとは熟練職の10万日(273年!)分の賃金です。

しかし、旅は順調にゆきません。フォッグを窃盗犯と疑って逮捕をめざすフィックス刑事がじゃまをしますし、インドの鉄道はじつは未完成です。ヒンドゥーの寡婦殉死の儀礼から若きアウダを救出すべく遠回りもしました。こうした困難をフォッグは旅費

をつぎこみ／金にあかせてねじふせ、律儀なパスパルトゥーは主人をささえ、そしてめでたい結末をもたらすことになります。

中学生のころ、この作品は英雄譚でした。ヒンドゥーなどは野蛮な悪者です。大学生になると、今度はオリエンタリズムの描くイメージが気になりました。「目は細く、胸が薄くて……歯を真っ黒に染めている」とはこの誰でしょう。

いまはときに授業で紹介します。すなわち、この作品の登場した19世紀後半の英仏はフォッグとパスパルトゥーのように協調路線をとり、欧米には平和外交や自由貿易で対応します(アジアには敵対的)。1884年にグリーンジをとおり本初子午線が、合衆国の首都ワシントンで開催された国際会議で、フランスの譲歩を得て決定されたのが象徴的でしょう。イギリスのグローバルな展開を経験しながら、ローカルな人びとの姿を垣間見て、さらには世界の構図を知るような作品になっています。



コミュニティフェローの称号授与及び特別表彰

【コミュニティフェロー制度】

本学における地域貢献及び人材育成の推進をめざし、地域課題解決のために、世代、分野・職種を超えた「チーム活動」を牽引する知識及び技能(コミュニティ・ワーク力)を備えた学生に「コミュニティフェロー」の称号を授与する制度です。コミュニティフェロー認定者のうち、特に顕著な活動実績があり、リーダーシップを発揮した優秀な学生には、学長より「特別表彰」を行います。2025年度は159名がコミュニティフェローに認定され、6名を特別表彰しました。



〔特別表彰受賞者一覧〕

学部	学年	氏名	主たる活動内容
薬食生命科学総合学府 博士前期課程	2年	鈴木 悠斗	静岡市における健康増進に関する活動
薬学部	6年	石田 光稀	モバイルファーマシーを用いた地域啓発活動
食品栄養科学部	3年	河合 心里	藤枝市におけるまちづくり推進に関する活動
国際関係学部	4年	帯金 晴樹	静岡県中部における文学による地域振興に関する活動
経営情報学部	4年	金澤 知哉	静岡県内におけるマーケティングに関する活動
看護学部	4年	榎本 美和	若者の健康課題や性教育の啓発を目的とした学内外活動

※学年は2025年度当時

生涯健康サイエンスフェス in 静岡県立大学2026 参加無料

「防災を日常に一命とくらしを守るイタリア式TKB48-」をメインテーマに、講演会、高校生の研究発表などを開催。

開催日:10月24日(土) 会場:静岡県立大学 草薙キャンパス 看護学部棟4階

お問い合わせ:生涯健康サイエンスフェス運営委員会事務局(教育研究企画室内) 電話 054-264-5156

詳細はホームページを
ご確認ください。



講座情報

令和8年度公開講座(無料) ※対面(会場)+オンライン(リアルタイム配信)のハイブリッドで開催予定です。

講義テーマ	開催日	会場	申込み方法については 本学HPをご参照ください。
①私のこころとからだ、再発見！(看護学部)	9月26日(土)	静岡県立大学 小鹿キャンパス	 お問合せ 教育研究企画室 公開講座担当 054-264-5156
②食から考える持続可能な社会(食品栄養科学部)	10月 3日(土)	静岡県立大学 草薙キャンパス	
③現代社会と情報・数理(経営情報学部)	10月31日(土)	静岡県立大学 小鹿キャンパス	
④人と地域と自然が育むつながりを探る(国際関係学部)	11月 7日(土)	静岡県立大学 草薙キャンパス	

社会人学習講座(有料・随時追加)

ホスピタル・プレイと治癒的な遊びの理論 ハイリスク児を理解しよう	9/26	安心・安全な少子高齢社会に向けて	11/14
日本型右派・左派における思考パターンの特徴 ～欧米との比較分析～	10/3	パズルで楽しむ近現代数学2026	11/28
スマホで始める生成AI英語術～旅行・仕事・学びに役立つ「使える英語」と学習法～	10/10・17	英語で学ぶウェルネスツーリズム ～インバウンド市場の対策～	12/4・18
社史作りによる事業承継教育～事業承継2.0の時代の後継者教育のあり方～	10/15	遊びでつなぐ医療と福祉と子ども～治癒的な遊びの実践～	12/5
働く人のための社会保障入門～知っておきたい医療・年金・介護の基本知識～	10/21	Pythonによる会計データサイエンス	12/5

2027年1月以降も開催いたします。お申込みは地域経営研究センターHPまたはお電話でお問合せください。(054-264-5400)

はばたき

次号154号は2027年2月の発行予定です。

153号 2026年8月31日発行
発行元/静岡県立大学広報委員会

- 静岡県立大学 経営戦略部経営企画室
- 〒422-8526 静岡県静岡市駿河区谷田52-1
- TEL/054-264-5130 ■FAX/054-264-5099
- E-mail/koho@u-shizuoka-ken.ac.jp
- URL <https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/>



ご意見・情報をお寄せください。

記事に関するご意見・ご感想、今後取り上げてほしいテーマなど、ご要望をお待ちしています。また、本学の学生、教職員の教育・研究活動のほかご卒業生に関する情報もお寄せください。今後の企画の参考にさせていただきます。

広告

「はばたき」読者限定!

Google口コミ 4.7の高評価!
令和8年7月1日現在

県大生応援キャンペーン!!

2026年 (お申込時にこの冊子をご持参下さい)
8/1(土)~9/30(水)までにお申込みの方に
5,000円分のAmazonギフト券をプレゼント! ¥5,000

※普通自動車で入校の方が対象です ※限定解除の方は対象外とさせていただきます
※景品の内容は予告なしに変更になる場合があります ※景品は第1段階修了後にお渡しします

古庄は特典がいっぱい

優先予約で短期取得可

再検定料一切不要

技能オーバー無制限保証

夜間料金無料

免許は取ったけどしばらく乗ってないから運転が不安で...

卒業生特典
ペーパードライバー講習
1時間無料
※普通車のみ: 2・3・8月を除く

お申込みはフリーダイヤル 0120-155-168 携帯からでもOK
※チラシを見たとお伝えください。

公認 古庄自動車学校

〒420-0812 静岡県静岡市葵区古庄3丁目11番15号
TEL.054-261-1551
FAX.054-264-0940
URL <http://www.flushyou.co.jp>
Mail main@flushyou.co.jp

浪速セブイ通り
至静岡駅
至静岡駅
至長沼大橋
至清水
●GS
●ネットヨタ 静浜
●ローソン
●新北街道
●しずてつストア ローソン
●フードマーケット マム
●古庄自動車学校
↓ 静浜古庄駅より徒歩5分
●オートバックス
●静岡鉄道
●古庄
●ヨシダ
●ガスト

卒業式当日
県大草薙校舎にて
着付・ヘア・写真・返却!
草薙校舎からグランシップまで
無料送迎付き!

卒業式袴 RENTAL

2027年2月7日
まで予約受付中!

**県大草薙校舎内
展示予約会**

場所 | 草薙校舎上食堂ラウンジ
日時 | 11:00~16:30
2026年10月26日(月)
2026年10月27日(火)
**グランシップ内
展示予約会**

場所 | 6階展示ギャラリー3
日時 | 10:00~16:00
2026年10月31日(土)
2026年12月12日(土)
「詳細はQRコードから」

京都むらまつ 店舗 | 静岡市葵区馬場町25-2 (静岡駅徒歩18分)
営業 | 09:30-17:00 来店予約制 (水曜定休) ☎ 0120-144081 京都むらまつ